

モニターの

注目

今月は、瀬川孝美さんが登場します。

瀬川さんは、笠岡市をスポーツ天国にしたいとの思いから、既存の施設の有効利用について、また周辺環境を整えるために自分達ができることについて提言されます。

真のスポーツ天国笠岡造り

九月定例市議会の質問に、「規模は小さくても、市内の子供達に夢とロマンを与える施設を建設してはどうか。」とありました。私は新しいものを造るより、造ったものを、どのように活かすかという方向に向かう時期だと思っております。これを私の大好きなスポーツで考えてみました。

施設は出来た！

太陽の広場を含めた干拓地の一面に、岡山国体を機に、体育館、陸上競技場を核とした笠岡総合スポーツ公園とい

大会イベントも充実！

10月には、岡山県社会人・広島県実業団、同時開催の「第1回いふあーむ駅伝」11月には、昨年ハーフマラソンが復活した「第10回記念いふあーむ笠岡マラソン」の各大会が開かれ、12月には昨年まで笠岡工業高校発着で行われていた伝統のカブトガニ駅伝も「第20回カブトガニ駅伝」として干拓の新設コースに

やって来ました。

色々な人達の努力で、ここまできたとマラソンファンとしては嬉しい限りです。

しかし干拓の現実はい！

先日「第1回いふあーむ駅伝大会」の準備でコースの清掃ボランティアに参加しました。

大量の空き缶やペットボトルに混じりタイヤ、テレビ、ソファまで。400人余りで集めたゴミは、二時間で何と15トン。当日、参加された4分の3は福山市からの応援者と一緒にゴミを拾った子供の「なんで人の捨てたゴミを拾わんといけんのじゃろ。」との一言に、笠岡市民の私は恥ずかしい限りでした。

笠岡市民の私達に出来ること！

昨年は捨てない為のモラルの提案をしました。今回は拾う為のシステムを提案します。その一つとして、スポーツ推進課に子供も含めたスポーツボランティア組織をつくるはどうでしょう。この組織

を準備の清掃や、大会の手伝いに活かさないでしょうか。



拾ったゴミの処分に困る！

以前、二年ほど個人でゴミ拾いをした時、その処分に苦勞し、家庭ゴミとして出していました。が結局長続きしませんでした。

その経験から、スポーツ公園駐車場北側の「ゴミステーション」の開放が出来ないでしょうか。常時投入可能にする。当然、家庭ゴミの山になるでしょう。その対応として、月一回程度、ボランティア清掃員とステーション開放をセットにして、誰でも気軽に参加できるようにするとう

のは、どうでしょう。

笠岡市民として思うこと！

今回取り上げたスポーツ公園を含めた施設の建設には当然、その維持にも「公園管理委託料」などで一億数千万円の予算が使われていることをご存じですか。何気なく捨てたゴミの処分費用は私達の納める税金にハネ返ってきます。

「真のスポーツ天国笠岡」と胸を張って言えるように、施設、周辺環境を見守り、維持する手伝いをして行きたいと思えます。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り…〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一

企画政策課モニター係

☎2110 FAX 2228